

C サポ通信 秋号

2022年11月

No.8



一般社団法人消費生活総合サポートセンター(Cサポ) 会長 小野由美子

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-7-6-33 Tel&Fax 03-6268-9873 <https://www.c-support.or.jp/>

国民生活センター講師養成講座に行きました 2022年10月3日(月)4日(火)

消費者教育に携わる講師養成講座[対象者別コース]で、特別支援学校等に通う知的障害(軽度)のある生徒を中心とした若年者への講座実施に向けた研修について、Cサポから講師を派遣しました。3年連続で依頼されている講座です。参加者は42名、久しぶりの大人数での開催となりました。大変好評のうちに終了しました。

1日目 10月3日「知的障害者への消費者教育の重要性—知的障害者の特性と消費者トラブル事例を踏まえ—」

知的障害者と消費者トラブルについて、消費者庁や国民生活センター調査にもとづく解説や、学校教育と社会教育の連携の必要性、そして特別支援学校等に通う軽度の知的障害のある生徒に向けた消費者教育についてお話ししました。消費者庁の特別支援学校(高等部)向け教材「ショウとセイコと学ぼう!大切な契約とお金の話」について、授業実践にもとづく留意点も検討しました。

2日目 10月4日「知的障害者への消費者教育の重要性—知的障害者の特性と消費者トラブル事例を踏まえ—」

知的障害者、支援者に講座を届ける際には課題にフィットし、リアリティのある「お金」の学びが必要で、事前の情報収集がカギを握ります。そこで、前半はどのような情報収集が必要か、どうやって入手するか、具体的に説明しました。後半は、支援者向け、当事者向けの模擬授業を実演し、午後の授業案作成に向けて、具体的なイメージを持っていただきました。



後半「知的障害(軽度)のある生徒やその支援者向け 消費者教育講座案を考えよう！」

短い時間の中、プランニングシートを作成し、グループワーク、発表と限られた時間で盛りだくさんのことを実施しました。限られた時間でしたが、皆さん積極的に取り組み、「地元に戻って生かそう!」という意欲の高さが印象的でした。



時間	(分)	タイムスケジュール
11:40~11:50	10	オリエンテーション
11:50~12:30	40	個人ワークによる講座案作成
12:30~13:30	60	昼食休憩
13:30~14:15	45	グループ内意見交換・発表
14:15~14:20	5	中間オリエンテーション
14:20~14:35	15	講座案の手直し、休憩
14:35~15:10	35	講座案の全体共有(代表者に発表いただきます!)
15:10~15:15	5	発表をふまえて再度見直し
15:15~15:30	15	講師より全体講評とまとめ

12:30(時間厳守!)
講座案提出

2022年10月23日、C サポの理事会が千代田区西神田の当法人事務所にて開催され、提議された2つの議案はいずれも可決承認されました。また、報告事項についても了承されました。

【決議事項】

第1号議案 顧問就任の件

榎引進一氏の顧問就任を承認しました。榎引氏につきましては、消費生活アドバイザーの2期生であり私たちの大先輩であり消費者団体でのご活躍はもとより、企業活動でも経営職としての重責を担われて来られました。今後のCサポの事業展開などに強力なサポートが期待されます。

第2号議案 新入会員入会承認の件

新入会員1名について入会を承認しました。今回の新入会員は中学校教諭1種免許状(社会、家庭)、高等学校教諭1種免許状(地理歴史、家庭)及び特別支援学校専修免許状を取得しており、Cサポの消費者教育委員会などのご活躍も期待したい方です。

【報告事項】

職務執行状況の報告の件

会長及び専務理事の職務執行状況を報告しました。

各委員会の活動紹介

日本消費者教育学会全国大会にオンライン運営スタッフ

2022年10月8日(土)・9日(日)

事業委員会

第42回全国大会 日本消費者教育学会がオンラインで開催されました。Cサポメンバーがオンラインの運営を担当しました。学会本番のZoomホストはもちろん、事前打合せも多数行い、HPへの事前申込み画面の作成やカメラの位置調整、3会場の分科会や懇親会のZoom担当など数々の役割を分担しCサポ魂で取り組みました。

学会に参加の皆様は、Zoom参加の方とさまざまでしたが、学会当日は、大きなトラブルもなく無事終了!! 大役を果たした充実感がありました。消費者教育学会の皆様は、このような貴重な機会をいただけてとても感謝いたします。(写真は当日の様子)



コロナ禍が続いていますが、今年度の講師派遣事業（出前講座）は行政や学校からのご依頼を受け、10月末までに9件実施しました。今年度の講座は多くがリアル開催となり、直前でオンライン開催に切り替わるなどにも対応しながら進めています。

Cサポの講師派遣事業の特徴は、①多彩なテーマや対象に対応できること。講座受講者は教員の先生方、消費生活相談員・行政職員、PTA、学校の生徒、一般市民などさまざまで、テーマも「SDGs」「エシカル消費」「特別支援向け」「消費生活関連」「消費者教育」など多岐に渡りご依頼をいただいています。

②会員が無料で使えるCサポオリジナル教材があること。消費者教育教材2022 消費者教育長官賞の「オンラインで学べる消費者教育教材（義務教育編）」は、対象の講座で使用します。

③講師が質の高い講座を提供していること。講座の対象者や地域性を考慮しつつ、各講師はワークショップなどの手法も取り入れながら工夫しています。

実施した講師派遣事業の実績は、Cサポ Web サイトの「講師派遣」で報告していますので、ぜひご覧ください。下半期も順調に依頼が入っており、ご要望にお応えしつつ一つひとつ丁寧に取り組んでいきたいと考えています。

■消費生活（くらし・経済）
エンディングノート、教育資金など

■消費者教育
成年年齢引き下げ、キャッシュレス決済など

今日の講座内容

1. マネープランの必要性と作り方
2. 教育資金の貯め方
3. 奨学金制度とチェックポイント

2022年5月、一般市民向けに「はじめよう終活～エンディングノートの書き方～」(申込11名)を実施しました。

終活の目的、やらなければならない事について(特にエンディングノートの書き方)詳しく説明しました。参加者の将来の不安を感じることが出来ましたが、その不安について、的確に答えられたのかに不安が残ります。

依頼者の感想

エンディングノートの書き方をわかりやすくご講義いただきありがとうございます。アンケートでは、書き方だけでなく、「自分と周囲の繋がりを再発見できた」との声もありました。有意義な時間をありがとうございました。

2022年8月1日 群馬県家庭科教員等研修講座をCサポで担当させていただきました。

前半の部 13:15～14:40 【講師:西原】

「キャッシュレス決済の動向」というテーマで、経産省「キャッシュレスビジョン」から始まったキャッシュレス決済の推移と各種キャッシュレス決済の実感をいろいろな観点から解説しました。

キャッシュレス決済の最新の知識をクイズ形式で学んでいただいた後は、先生方に生徒役になっていただき、中学生向け「キャッシュレス決済」の模擬授業を行いました。コロナ禍でも工夫をしたことで、和気あいあいとした学びができたと思います。

受講者の感想

・キャッシュレス決済についての知識があまりなかったので勉強になりました。
・キャッシュレス決済の動向、非常にわかりやすく学ばせてもらいました。現金での支払いシステムの維持には、こんなにお金がかかることを知り、四者間契約も知ることができ、私自身の理解も深まりました。

■SDGs、エシカル消費
環境学習、食品ロスなど

■特別支援学校エシカル消費など
お金の管理など

5年生を対象に、環境の講座を実施（昨年度の実施時年生だった児童）

ご依頼内容
【対象者】小学5年生、54名
【内容】「海洋汚染（プラスチック）について」
①海洋汚染の現状
②人間の活動が海洋汚染の原因である
③豊かな海を守るためにできること

海側に流れ着いたくじらや網に絡まったミガメの写真、海洋プラスチックの現物を見せたり、クイズ、ワークなどを講師が組み立てて実施しました。講座後のアンケートには「ごみの多さに驚いた。人間が出したごみで生き物が苦しんでかわいそう。自分ができていることを探して今日からやりたい。」などあり、しっかりと受け止めてくれたと思います。

使用教材と感想

2022年9月28日、特別支援学校のPTA指導者を対象とした研修会で、18歳での親権離脱から考える消費者被害とその防止をテーマに講演を行いました。（岡山県教育委員会主催 25名参加）

講師が、こどもとおとなの障害者の方々の支援をしてきた立場から、①18歳で親権離脱をどうとらえるか、②卒業後の生活を見据えた教育の重要性、③おとなの障害者の方々の金銭管理や浪費・消費者被害等の状況、④課題の防止・早期発見とそのベースとしての金銭感覚の涵養の手立て、⑤具体的な活動紹介も含めたPTAへのご提案等のお話をさせていただきました。グループワークでも助言をさせていただきました。

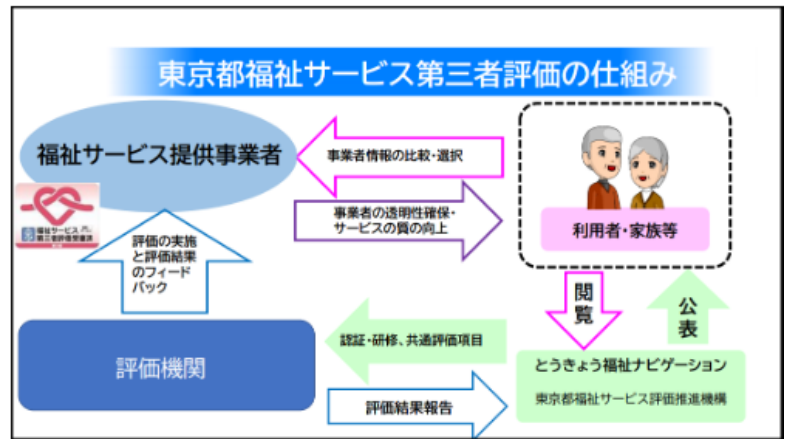
受講者の感想

「お金の問題をわかりやすくお話くださり大変参考になりました。」「学校在学中に成人を迎える準備をしっかりと行いたいです」等の感想を受講者よりいただきました。

首都圏を中心に講師活動が可能な方、講師登録をご希望の方はご連絡ください！
消費者教育委員会 ML sho-kyo@c-support.or.jp

福祉サービス第三者評価活動は3年目となり、今年度は29件を受託しています。第三者評価は事前訪問に始まり、利用者調査、訪問調査、報告書作成、報告会、そして機構への報告書提出と一事業所の評価に3～4ヵ月余りかかり、並行していくつもの事業所の評価に追われる日々が続いています。10月、11月は利用者調査の多い時期なのですが、コロナ禍で事業所訪問を控え、調査をオンラインで実施するケースも増えています。

利用者への質問項目は、例えば「食事の献立や食事介助など食事に満足しているか」「トイレや入浴など生活に必要な介助を受けられているか」など、東京都福祉サービス評価推進機構で決められた質問項目に基づいて聞き取りをしていきます。利用者も画面の中で一生懸命答えてくださいます。結果は公表され、「[とうきょう福祉ナビゲーション／福祉サービス第三者評価](#)」で見ることができます。同じ項目で比較ができるので、「介護サービスのどこを比較したらよいかわからない」という場合に参考にしてみてください。



お知らせ

令和4年度 全国ネットワーク会議 「日本のエネルギー事情とSDGs」 事業委員会

開催日時

令和4年12月3日(土) 13時～16時

[申込フォーム](#)

または
QRコード

開催方法

Zoom 配信によるオンライン(100名) または 会場参加(20名)
一般財団法人産業人材研修センター霞会館2階 大会議室
(東京都港区西麻布3-2-32)

内容

第一部「今知っておきたいエネルギーとSDGs」

講師:ユニバーサルエネルギー研究所 代表取締役 金田 武司 氏

第二部「今年の冬の電力需給について」

講師:電気事業連合会 広報部 部長 廣瀬 大輔 氏



地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けたカーボンニュートラル、脱炭素 社会の実現に消費者一人ひとりが取り組むために・・・Cサポは、そのための第一歩を「今の状況を知ること」と考えています。

一見すると難しそうなテーマである日本のエネルギーの特殊な事情や現状の問題点について、テレビでもご活躍の金田先生、電気事業の業界団体の方にわかりやすくご講義いただきます。エネルギーについて楽しく学べる貴重な機会！

参加費無料です。ぜひご参加ください。

問い合わせ先 事業委員会：jigyuu@c-support.or.jp

